

第46号

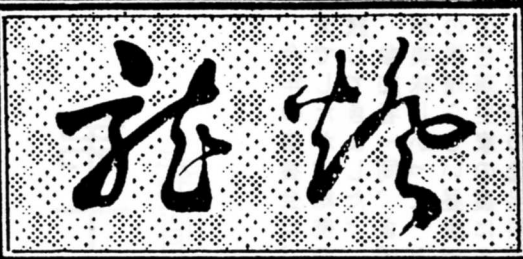
大阪市史跡 龍溪寺墓所 宝登山九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号  
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第二十五世住職 奥田啓知(智證)



ありがとう大阪近鉄バッファローズ！ がんばれ大阪ドーム！

# 中学生『反抗期』消えた 自分自身の主人公になれ！

産経新聞に「中学生が消えた反抗期」という記事が載っていました。教育シンクタンクの「ベネッセ未来教育センター」（東京）の意識調査で分かったそうです。

調査は今年二月、関東の中学生一、三年生千三百五十五人を対象に実施したところ、家庭で過ごす時間について、半数を超える中学生が「のびのびできる」「安心できる」「楽しい」と回答。「退屈」「イライラする」「孤独」といった否定的な回答はどれも半数以下で、約8割の中学生が円満な家庭に満足していることが分かりました。

また、親がどういう場合で絶対に叱ると思うかを複数回答させたところ、「先生の言うこと聞かなかった」「近所の人に挨拶をしなかった」「朝家族に「おはよう」と言わない」はいずれも10%前後と、親が子供を叱らない傾向が垣間見られるとのことでした。

のなかで、青年期の特徴として自我にめざめ、精神的に自立していこうとする青年を「第二の誕生」ととらえ、心理的離乳のさまを「熱病にかかったライオン」と表現しています。

「第一の誕生」はこの世に人間として生まれること、そして子供は親に心身とも依存して育ちますが、中学生ぐらいたなり青年期をむかえるころになると自分とよく似た、しかも身近にいる親の存在を目障りに感じたり、無視するなどの行動にでます。その強い自己主張と激しい感情表出にさらされる姿を「熱病にかかったライオン」と表現したので。

この調査からは、そのような姿は窺いえません。家庭円満は大事なことです。反抗期は子供が精神的に自立するうえで不可欠な過程です。「反抗期を持たない子供がどう自立するのか心配だ」とは、調査をまとめたシンクタンクの深谷昌志教授の弁です。

（和尚は、毎日自分自身にむかって「主人公」とよびかけ、また自分で「ハイ」と返事をしていました。）



「無門関」という禅の語録にでてくる話ですが、師彦和尚が「目を覚まし、騙されるな」と自分自身に忠告しているのは、金銭的な問題やトラブルのことではありません。私たちが世間の常識に縛られていることをいっているのです。自分自身が他の奴隷になるのではなく、私たちは自分自身の「主人公」になってこそ、仏教的なアイデンティティ（主体性）の確立といえるのです。

こうした「第三の誕生」をへて人は仏（覚者）となるのです。

# 第十一回修養会報告

## 素晴らしい料理に感謝の声

今年の修養会は、十月三十一日曇天でしたが、総勢四十一名伊賀路を旅してきました。

参加者一同、まず第一声に「料理が美味しかった」と声をあげるほどの素晴らしい昼食でした。伊賀上野の芭蕉生家の裏にある割烹料理旅館・三田清の逸品料理は、過去十一年で最高の昼食でした。

大仏巡拝の二回目は伊賀上野郊外山中にある阿波大仏。鎌倉時代の名僧重源上人が建てた新大仏寺の本尊盧遮那仏に参拝しました。副住職の説明ならびに「おかげさま」の大切なこと「お参りは決して自分のことを頼んではいけませんよ」とのご法話に参加者一同、「こうして修養会に参加できるのも家族のおかげ、健康のおかげ」と感謝の気持ちを新たにしました。

とにかく、素晴らしい料理でした。また旅館の方々の気配りには感謝しました。今回の旅館はインターネットですべて下見に行きましたが、実食しておらず不安でしたが、びっくりするほど美味しいまた沢山の御馳走でした。霧雨の降る上野城公園をあとに帰

阪、一路最後の目的地「河内三千仏（黄檗宗法雲寺）」をめざしました。一万坪の境内を有する法雲寺は、山口県萩の東光寺を筆頭に全国に百二十八ヶ寺の末寺をもつ黄檗宗きつての中本山で、方丈さまのご精進の賜物、境内には落ち葉一枚も目につかないほど手入れされていました。本堂でご説明を受け、開山慧極禅師のお名前を頂いた慧極殿で茶の接待を受けました。

来年は順延している彦根大仏に参詣の予定です。是非のご参加をお待ちしています。三田清の逸品料理の印象があまりに強いので、来年の昼食の選定が重荷となっていますが！

### 黄檗山の名物和尚

## 奥田仁芳老師示寂

当院「円通宗統禅会」の坐禅指導をお願いしておりました奥田仁芳老師が、平成十六年九月十五日示寂されました。行年七十五歳でした。

禅会は、龍燈会館の竣工を機に、一階の坐禅堂で、平成五年十一月十七日より



参加の善男善女一同 新大仏寺山門前にて

同十一年四月十八日まで六年間、黄檗山萬福寺塔頭萬松院の前院主の奥田仁芳老師をお招きして続けてきました。老師が四大不調になられ萬松院を退かれ、滋賀県蒲生郡日野町にあるご自坊の浄光寺で静養されましたので、休会にし

ありがとう大阪近鉄バッファローズ！ がんばれ大阪ドーム！

年 忌 表 (平成17年)

回 忌	死 亡 年
1 周 忌	平 成 1 6 年
3 回 忌	平 成 1 5 年
7 回 忌	平 成 1 1 年
13 回 忌	平 成 5 年
17 回 忌	平 成 1 年
25 回 忌	昭 和 5 6 年
33 回 忌	昭 和 4 8 年
50 回 忌	昭 和 3 1 年

※来年度の年忌表をかかげます。お位牌や過去帳などをご確認下さい！尚、23回忌・27回忌・37回忌・43回忌・47回忌などは禅宗や当地域では執行しません。

年忌法要は祥月命日前の土曜・祝日曜にされることが多く、他家の法事と重なりご希望に添えない事もあります。遅くとも1カ月以上前までに当院まで、日取りと場所などのご希望のご連絡をお願いします。

又、ご法事などに、龍燈会館（椅子席）・本堂をご利用ください。精進落としの料理・酒類なども準備できます。墓花や供花はご準備できますが、お施主さまがご準備されるほうが供養になります。

当日はご遺影とお供えのみご持参下さい。詳細は当院までお問い合わせ下さい。

未後の二句  
法の一瞥  
辞世(遺偈)  
生理無厭  
するなさせるな  
迷惑心ぞ  
落葉あつめり  
もしは灰さらば  
浄光寺  
奥田仁芳老師の遺偈

ていました。老師は黄檗宗第五十七代管長金剛軒村瀬玄妙猊下の法嗣で、塔頭緑樹院の青少年文化研修道場で黄檗禅の大衆教化に務められ、私どもの派頭寺院の正明寺、大本山塔頭萬松院、宝善院の住職を歴任されました。宗内きつての名物和尚で、オットセイのような腹から響く読経の声は、本山では知らない者がいませんでした。また、法式・梵唄には滅法詳しく生き字引のような和尚で、人一倍勉強家でもありました。平成十二年に隣臓ガンを発

病、浄光寺に隠棲されてから、NHK大阪の文化教室に坐禅指導に出掛けられ、亡くなられる四日前の九月十一日には、車椅子で警策を振るわれ、最後まで求道一筋の禅者でした。辞世の句は、老師が平成十五年に医者への反対を押し、米国のポストンへ巡錫されたおり、最後の旅になるかと残されたものです。辞世の句のように津葬(葬儀)は行われず、禅友の和尚の経に送られた旅立でした。十月二十六日萬松院で偈ぶ会があり、縁の和尚方が集いました。

墓地通路の改修整備  
十月に境内墓地の通路の改修工事を実施しました。もともと地盤が低いため、雨天時には水浸しになり、参詣にご不便をおかけしていましたが、出来る範囲ですが、要所要所に会所を設け、排水管を埋設しました。透水性のある紅白色のレンガを敷き、既存の石畳はかさあげしました。これで少しは雑草刈りの手間もはぶかれ助かります。

坐禅と除夜の鐘  
大晦日の午後十一時十五分より、三十分間坐禅をしたあと、十一時四十五分より除夜の鐘を撞きます。NHK「ゆく年くる年」で新年を迎えられるお家も多いことと存じます。今年も坐禅をしてゆく年を反省し「弘龍の鐘」を撞いて、くる年に誓いを新たにしませんか。清々しい気持ちで新年を迎えられること必定です。参加費は無料です。



阪神西大阪線難波延伸工事すすむ

奉納抄

編集後記

○会館前机寄贈（本年八月廿八日）

岩村美知子さまより、妹君日野辰江さま三十三回忌の供養にと、金参拾万円喜捨されました。前机ほかを購入了しました。

○禅書多数ご寄贈（本年九月）

森崎章弘さまより、兄蘭外先生蔵書より禅書多数ご寄贈頂きました。

● 盲犬・「プーマ」は癒し犬？

8月17日、我が寺に盲導犬がやってきました。3歳のラブラドル・レトリバーのオスで、名前を「プーマ」といいます。

家内が昨年5月にリタイア犬ボランティアの登録をしていました。「盲導犬クイールの一生」の舞台山となった関西盲導犬協会（亀岡）と富田林の金剛山にある日本ライトハウスに申し込んでいたところ、日本ライトハウスからの連絡があり、同日引き取りに行きました。

「プーマ」は、長野県松本市の盲学校の先生がユーザーで、昨年夏の共同訓練を終え、先生のパートナーとなって盲導犬としての仕事をこなしてきました。今年の夏、どうしても相性があわないとかでリタイア犬になったもので、当初予想していた高齢犬ではなく、若い元気な犬だったので。

来寺して5日間というもの、我が家に慣れるまでが大変でした。なにしろ2匹の先輩犬がいるのですから。とくにミニチュアダックスのケイちゃんが新米のプーマを追回し、33キロの大型犬が小さくなっているのです。ライトハウスの担当者は、五日もすれば慣れるでしょうとのことでしたが、当初は可哀相で残念ながら返そうとまで思い詰めました。

プーマがリタイアを余儀なくされたのは、好奇心旺盛で人なつこい性格で、なによりも食い意地がはっているからでした。油断もすきありません。テーブルの上の食べ物を片っ端から食べるし、散歩中には平気で銀杏の実まで食べるのです。

今夏の盆ころから、お寺のお母さんが弱ってきました。その介護に、今まで以上に手が掛かり、バテ気味の家内にとって、今や家族の一員となったプーマとのふれあいが何よりの慰めです。プーマこそ「卑し犬」、いや「癒し犬」なのです。



お知らせ

◎のぼり奉納の募集 1旗金2千円

「南無観世音菩薩のぼり」を入れ替えます。1年間境内に掲げます。昨年同様お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は寺務所まで、お声をかけてください。

▼台風と地震。自然災害の恐ろしさを再び知らされた一年でした。  
▼阪神・淡路大震災から十年、「天災は忘れたところにやって来る」といったのは昔のこと、今や毎年のように災禍がやってきます。  
▼友人の娘さんが、アルバイトの給料袋を封も切らずに、地震の義援金に送ってと母親に渡したそうです。  
▼「全部しなくても」という母親に、

「ボランティアに行けないので、せめて義援金でも」との返事でした。  
▼他人事ではないのです。いつ自分も災禍に巻き込まれるかもしれません。  
▼たまたま、大阪に來なかつただけです。いわば、避けることのできない災禍を当該の地方が引き受けてくれたのです。  
▼「おかげさま」で無事でした。被災地に心をよせて、感謝しつつ生きていくじゃないですか。  
墓地管理費のご納付をお願いします。墓参の折り、郵便振込でも結構です。

阪神西大阪線難波延伸工事すすむ